

社団法人地盤工学会 平成 22 年度 第 2 回 理 事 会

議 事 録

日 時 : 平成 22 年 5 月 14 日 ( 金 ) 14 : 05 ~ 15 : 25		場 所 : 地盤工学会大会議室	
出席者 :			
浅岡 顕 会 長	風間 基樹総務部長兼専務理事	坪田 邦治 理 事	江藤 芳武 理 事
西垣 誠 副 会 長 (兼災害担当兼企画部長)	西本 聡 会員・支部部長	原田 健二 理 事	三藤 正明 監 事
	古閑 潤一 国際部長	谷 和夫 理 事	谷 茂 監 事 ×
高橋 邦夫 副 会 長 (兼基準部長)	三村 衛 会誌部長	岩田 英二 理 事	日下部 治 オ*ザ-バ-
	古屋 弘 事業部長	大塚 悟 理 事	岸田 隆夫 オ*ザ-バ-
村上 章 副 会 長 (兼総務担当)	川邊 敏弘 調査・研究部長	李 圭太 理 事	
	奥野 哲夫 理 事	中井 正一 理 事	

【事務局】戸塚事務局長，浅野次長兼総務・経理課長，鈴木一般事業課長，下山刊行事業課長  
(特別出席) 小川和洋 公認会計士

注) : 出席、× : 欠席

\* 定款 34 条に則り理事出席者 19 名が定足数 ( 13 名、定員 19 名の 3 分の 2 ) を満足している事を確認し、理事会の成立が報告された。

\* 議事録署名者として、風間 基樹、奥野 哲夫 を選出した。

議 題 :

( 報告事項 )

\* 議題に先立ち、平成 21 年度会計監査報告を実施した結果、適正であるとの報告がなされた。なお、監査意見として、各支部勤務の事務局職員に対する退職金規程が整備されていないことが指摘されたが、支部の状況を把握したうえで適切に対処することが確認された。また、1 年以上にわたる未収金、仮受金については、各年度末に精算することが望ましいとの指摘を受けた。今後、適正に処置することを確認した。なお、支部における特定資産は現金でなく、預金等の処置を講ずることの指示もあった。

議 事 録 確 認

1 . 理事会議事録 ( 案 ) ( 4 / 23 )

[ 別紙 - 1 ] pp. 1-7

\* 上記について、満場一致で承認された。

審 議 事 項

総 務 部

1 . 平成 21 年度事業報告 ( 案 ) ( 支部関係 )

[ 別添資料 - 1 ] ( 差替 , 当日配布 )

\* 風間部長から、「四国支部の支部創立 50 周年記念事業」を追記した説明がなされた後、満場一致で H21 年度事業報告 ( 案 ) が承認された。

2 . 平成 21 年度決算報告 ( 案 ) ( 本部関係 + 支部関係 )

[ 別添資料 - 1 ] ( 差替 , 当日配布 ) [ 別紙 - 9 ] pp. 25-32 ( 当日配布 )

\* 坪田理事から、平成 21 年度学会本部の事業活動収支において、法人税を考慮して -976 万の赤字で決算 ( 案 ) 支部においては、-232 万の赤字で決算 ( 案 ) とする説明がなされ、満場一致で承認された。赤字決算の理由の一因として、会費収入の減少が例年に比して数%大きかったこと、社会環境を反映した会誌広告の伸び悩み、事業の低迷などが説明された。

3 . 第 52 回通常総会議案資料および ppt の確認

[ 別添資料 - 1 ] ( 差替 , 当日配布 ) [ 別紙 - 10 ] pp. 33-41 ( 当日配布 )

\* 風間部長から、通常総会の ppt による説明がなされ、各部・各支部の説明内容の追記・修正がなされた後、満場一致で承認された。

災害連絡会議

企 画 部

会 員 ・ 支 部 部

1. プレミアム会員制度新規利用申込者

〔別紙 - 11〕 p. 42 (当日配布)

\* 西本部長からプレミアム会員タイプ の申込者 1 名が紹介され、満場一致で承認された。

2. 新規入会希望者 (平成 22 年 5 月 1 日入会)

〔別紙 - 12〕 pp. 43-46 (当日配布)

\* 西本部長から 4 月 30 日段階の新規入会希望者が紹介され、満場一致で承認された。

国 際 部

会 誌 部

事 業 部

調 査 ・ 研 究 部

基 準 部

報 告 事 項

総 務 部

1. 平成 21 年度会計監査報告

〔別紙 - 2〕 pp. 8-9

\* 会議に先立ち、独立監査人の小川公認会計士より報告と意見がなされ、冒頭に記述した。

2. 公認会計士よりの監査に伴う「理事者確認書」の提出の件

〔別紙 - 3〕 pp. 10-12

\* 戸塚事務局長より理事者確認書の説明がなされ、浅岡会長名で提出することの報告がありました承された。

3. 支部交付金前期概算払い

〔別紙 - 4〕 pp. 13-14

\* 浅野次長より、新年度の各支部運転資金の繰入について支部交付金の概算前払い処理について報告がありました承された。

4. 広報関連

〔別紙 - 5〕 pp. 15-18

1) 「英文ホームページに関する希望調査」の実施

2) 会員の他機関での表彰

\* 奥野理事から 1) については、6 月 30 日までに実施する予定であるとの報告がなされた。2) については、他機関での表彰の当学会における広報取扱のガイドライン検討を開始したところであり、今後理事会で報告していくことの説明がなされた。内容がある程度固まった段階で学会誌、HP などに掲載していくことも検討していくことの報告がなされ、ともに了承された。

5. 第 52 回通常総会議案書の HP での公開

〔別紙 - 6〕 p. 19

\* 戸塚事務局長から、理事会での報告後に、総会議案書を HP にて公開することの報告がなされた承された。

6. その他

1) 訃報

・ 名誉会員 中村武夫 氏 (元農林省農業土木試験場長) (21.12.29 逝去) 追悼文依頼者: 検討中

\* 風間部長から、上記の報告がなされ、追悼文作成について検討中であることが報告がなされた承された。

2) 共催、後援、協賛等の依頼

「実務者のための戸建住宅の地盤改良・補強工法 - 考え方から適用まで - 」の協賛

主催: (社)日本材料学会 H22.9.21 (東京) H22.9.24 (大阪)

「第 7 回構造物の安全性・信頼性に関する国内シンポジウム」の共催

主催: JCOSSAR2011 実行委員会 (日本建築学会) H23 年開催予定

「第 25 回信頼性シンポジウム」の協賛 主催: (社)日本材料学会 H22.12.9-10

「平成 22 年度物理探査セミナー」の後援 主催: (社)物理探査学会 H22.6.22-24

「2010 年度計算力学技術者認定事業」の協賛 主催: (社)日本機械学会 H22.9.18-19, 12.11

\* 風間部長から、上記の報告がなされ了承された。

3) HP・メールニュース等による会員への周知

「平成 22 年度研究助成」の募集 (H22.6.30 締切) (財)日本建設情報総合センターよりの依頼

\* 風間部長から、上記の報告がなされ了承された。

災害連絡会議

企画部

1. 平成 22 年度企画部会構成

[別紙 - 13] p. 47 (当日配布)

\* 谷理事から報告がなされ、上記について了承された。

会員・支部部

国際部

会誌部

1. 「地盤工学会誌」の発行, 目次: 7月号: 6月25日納本予定、6月29日発送予定

8月号: 7月26日納本予定、7月29日発送予定

[別紙 - 7] pp. 20-21

\* 三村部長から上記の説明がなされ、ともに了承された。

2. 平成 22 年度会誌部会および関係委員会の構成

[別紙 - 14] pp. 48-52 (当日配布)

1) 会誌部会

2) 「地盤工学会誌」編集委員会

3) 講座小委員会

4) 「論文報告集」編集委員会

5) 「地盤工学ジャーナル」編集委員会

\* 三村部長から上記の説明がなされ、すべて了承された。なお、各委員の所属については、再レビューすることが確認された。

事業部

1. 平成 22 年事業部関係委員会構成

[別紙 - 8] pp. 22-24 (p.24 差替, 当日配布)

1) 事業部会

2) 技術普及委員会

3) 出版企画委員会

2. 技術講習会コース制修了者について

\* 古屋部長から、上記について報告がなされ了承された。なお、2.について HP に掲載する場合には、本人の了承を得て実施することが確認された。

3. 平成 21 年度講習会収支報告

<21年3月>

講習会名	会場	収入予算	会員	非会員	学生	後援	予定	参加者	率
	開催日	(円)	収入実績(円) A		支出実績(円) B		実績の収支差(円) C=A-B(見込み)		
薬液注入工法の理論設計施工	JGS会館	561,000	23	12	0	0	57	35	61%
	3月11日		386,000		99,299		286,701		
地震と豪雨洪水における地盤工学からの提言	日大駿河台校舎	385,000	102	25	1	3	40	131	328%
	3月17日		1,383,000		222,346		1,160,654		
H21年度5月～H22年度3月の合計見			収入実績(見込み)			収支差の実績(見込み)			
			16,451,000			10,592,874			

\* 古屋部長から上記について、H21年度は全体的に講習会参加者が低迷したこと、計画に対して80%程度の開催にとどまったが、これは新刊本の発行の遅れなどによる影響であるとの報告がなされ、了承された。

調査・研究部

基準部

1. ISO関連の国際会議出席

[別紙 - 15] p. 53 (当日配布)

会議名：第35回 CEN/TC 292/WG 5 会議

出張者：坂井委員 (SO/TC 190/SC 3/WG 10 (予備試験法) 議長)

派遣先：ドイツ・ハーデン

期間：5月16日から20日の5日間

理由：添付ファイル参照

費用：経済産業省 重点TC旅費

会議名：第9回 ISO/TC 190/SC 3/WG 10 会議

出張者：坂井委員 (SO/TC 190/SC 3/WG 10 (予備試験法) 議長)，

野上委員 (ISO/TC 190/SC 3/WG 10 (予備試験法) プロジェクトリーダー) (添付資料に記載の今井委員は、派遣しない)

派遣先：ドイツ・ベルリン

期間：5月5日から9日の5日間

理由：添付ファイル参照

費用：経済産業省 重点TC旅費

\* 江藤理事から上記について、費用は経済産業省 重点TC旅費によることの報告がなされ、ISO 国際会議出席が了承された。

その他

議事の経過および結果を明確にするため、この議事録を作成し、議長および議事録署名者が下記のとおり署名する。

平成22年5月14日  
社団法人 地盤工学会

議長

議事録署名者

議事録署名者